



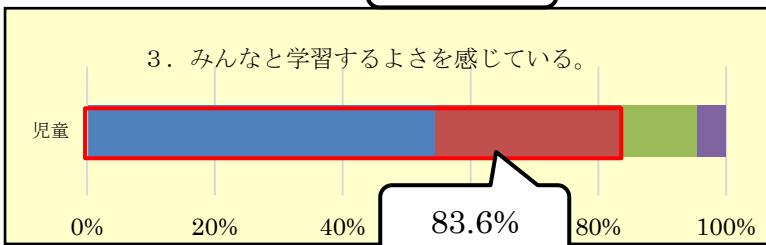
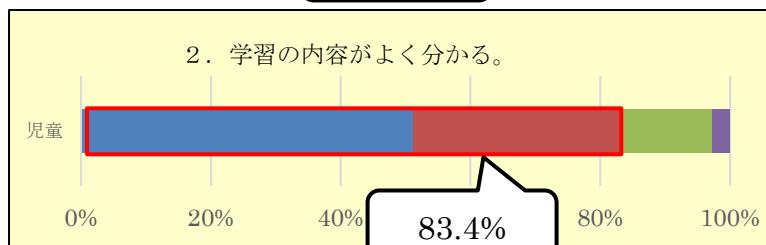
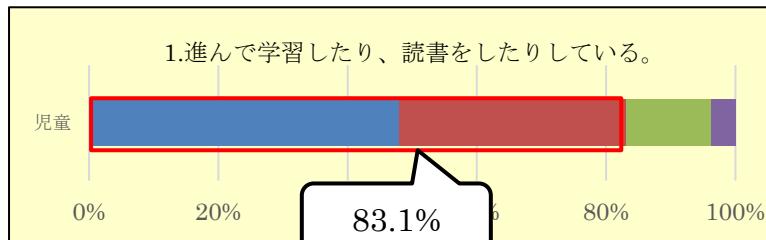
朱一だより

令和7年1月
特別号
京都市立朱雀第一小学校
Tel 841-3201
校長 宮下 佐知子

【令和7年度朱一つながりアンケート結果報告】

朱一つながりアンケートにご協力いただきありがとうございました。
結果について、ご報告いたします。

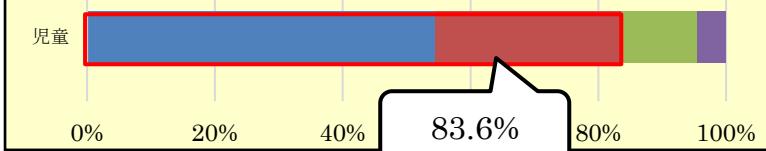
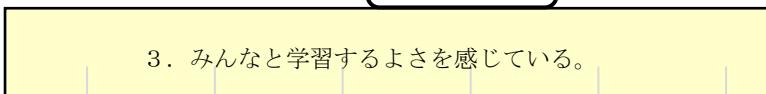
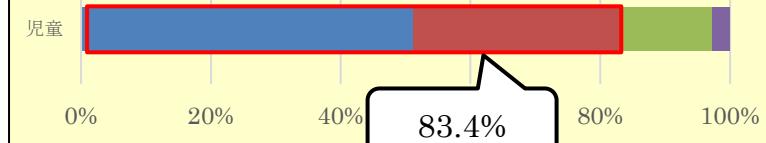
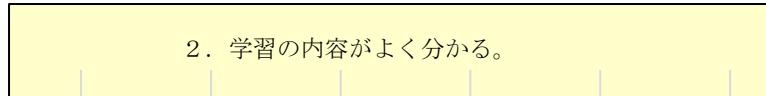
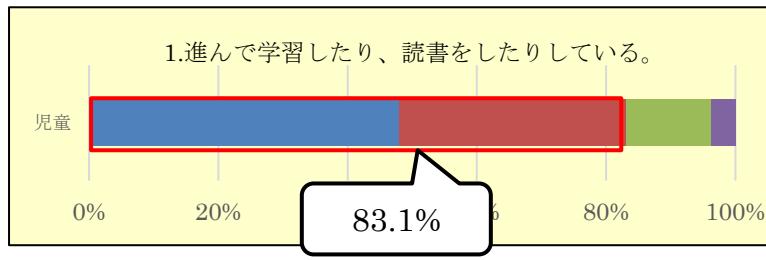
進んで学習する子(良い点)



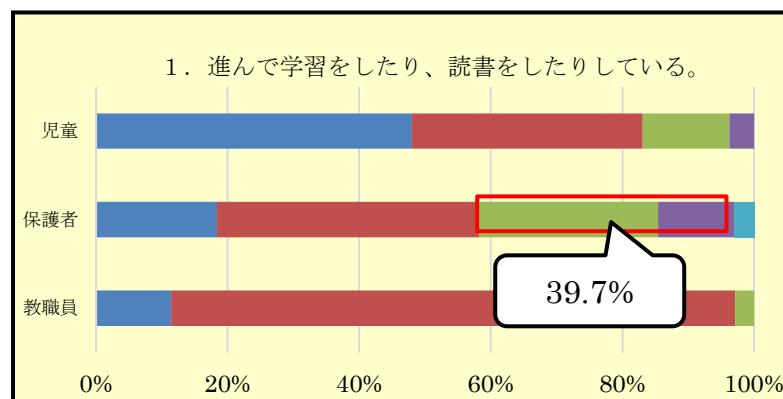
児童・保護者・教職員・地域等とのつながりを大切にした朱一教育を通して、「よりよく生きるために、自ら考え、行動する子」の育成を目指すことを学校教育目標としています。この目標を達成するために、「進んで学習する子」「思いやりのある子」「心も体も元気な子」の3つの目指す子ども像を設定しています。アンケートではこの3つの観点をもとに、児童は自分自身について、保護者はお子さんの様子やご家庭での取組について、教職員は学校での児童の様子や学校での取組について質問項目を作成しています。

回答の仕方は、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4項目で答えてもらっていますが、保護者の回答にのみ「わからない」という項目を増やしています。

■よくあてはまる
■あてはまる
■あまりあてはまらない
■あてはまらない
■わからない



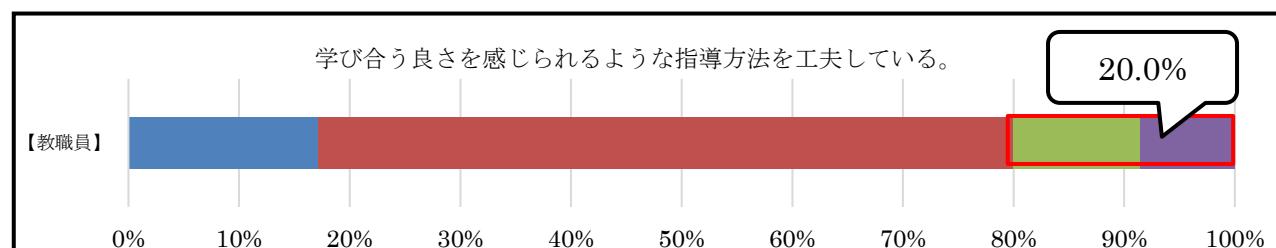
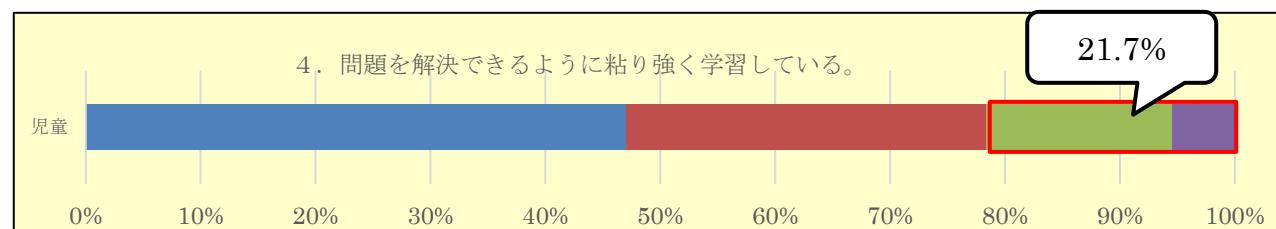
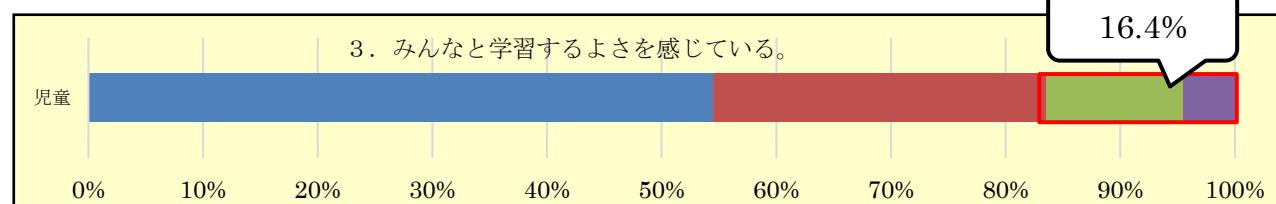
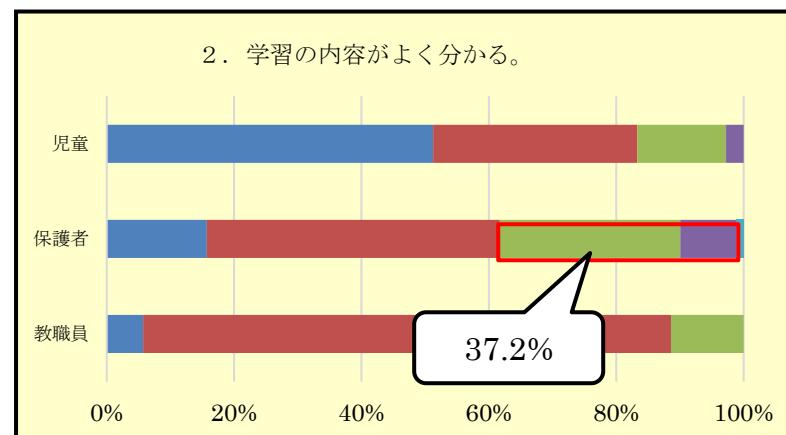
進んで学習する子【改善点】



保護者が児童の様子を回答した質問項目に注目してみると、「進んで学習をしたり、読書をしたりしている」で 39.7%、「学習の内容がよくわかる」では 37.2%、「問題を解決できるように粘り強く学習している」では 42.9%が否定的な回答となり、児童の回答よりも多いことが分かります。

保護者が子どもたちの学習について考える場面は宿題だと考えます。子どもたちが宿題に自ら取り組もうとしているか、すらすら解けているのか、最後まで自分の力でやり切っているのかというところを見て回答をされていると思われます。

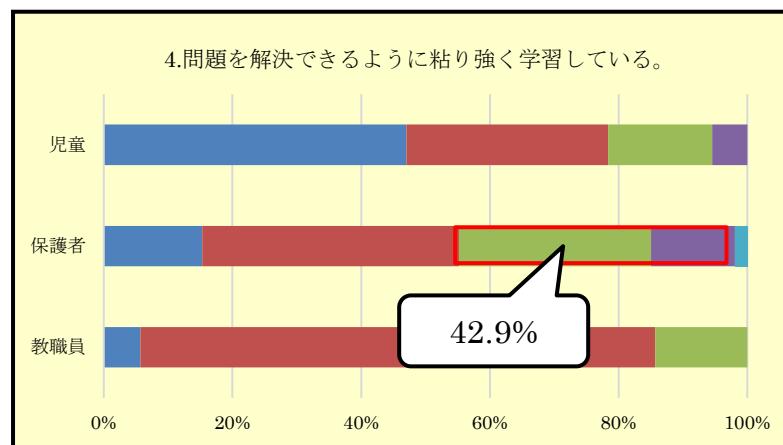
教職員としては、宿題も主体的に取り組めるような内容にしていくことが課題と考えます。



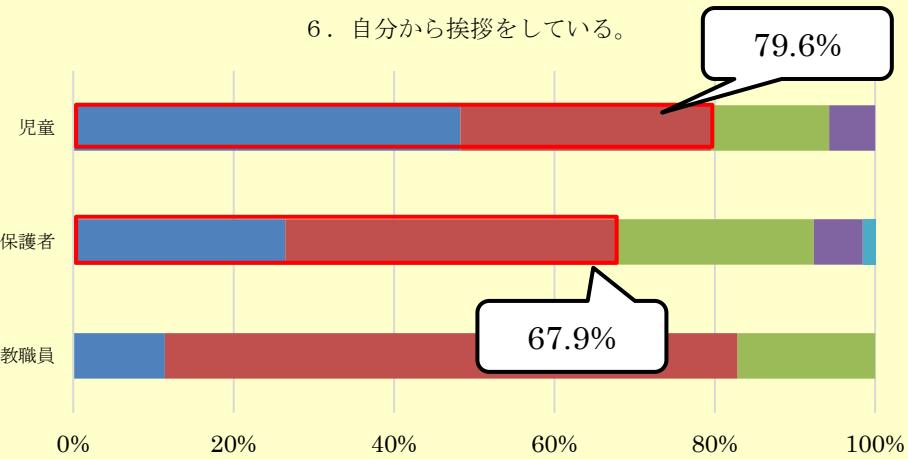
「みんなと学習するよさを感じている」という項目では 16.4%、「問題を解決できるように粘り強く学習している」という項目に対し、21.7%の児童が否定的に回答しています。

「良い点」として教職員の指導の工夫を成果としてあげましたが、この「学び合う良さを感じられるような指導方法を工夫している」の結果では少し様子が異なり、20%が「あてはまらない」と回答しています。

授業の導入で感じたワクワクをさらに新しいワクワクにつなげていくことを意識した指導方法を工夫することや、「学び合いの良さ」を感じられる指導方法の工夫をしていくことが今後の課題と考えます。



6. 自分から挨拶をしている。



思いやりのある子 [改善点]

児童の肯定的な回答が7～8割になるという結果でしたので、否定的に回答した児童に焦点を当てて、どんな改善ができるかを考えました。

児童は、おおむねルールやきまりを守っていると考えられます。保護者や教職員はルールやきまりを守ることについては働きかけているものの、自分で行動することについては働きかけが弱いということが結果から見られます。ルールを守ることと自分で考えて行動できることは両輪で考えて働きかけることが必要であると分かりました。

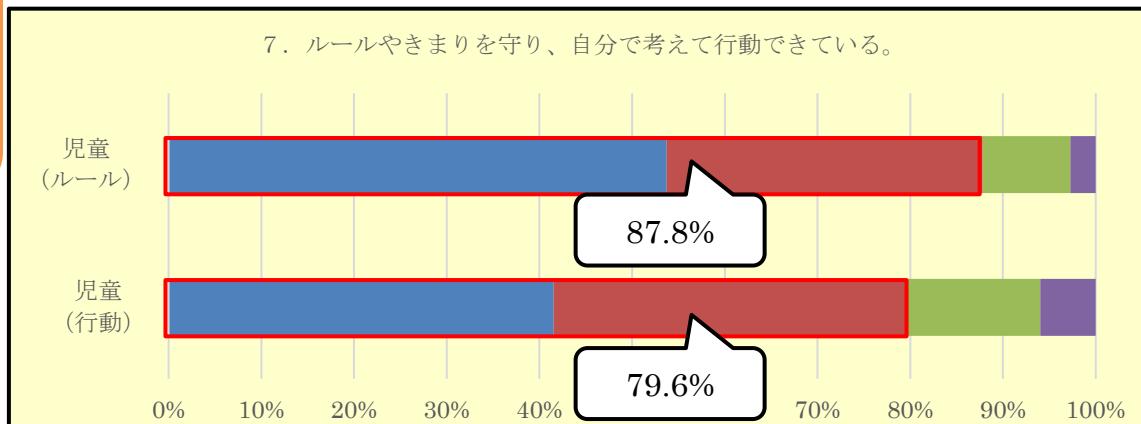
挨拶について、児童と保護者の肯定的な回答に大きな差が見られました。

校内での様子を見ていると、「挨拶されたらする」「知っている人なら自分からする」児童が多くいます。保護者の肯定的回答が児童と比べて低いのは、この挨拶をする「相手」が「子どもが知っている人」だけではなく、「いろいろな人」に挨拶をしているかという点で回答していただいているのではないかと考えます。

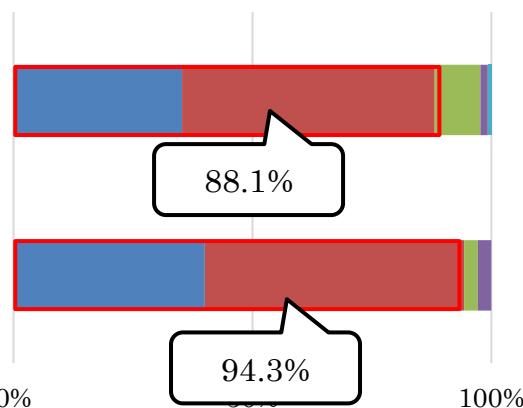
地域に出た時には、安全の観点から「相手」を顔見知りの方への挨拶でいいと考えるご家庭も多いかと思います。校内という安全な空間の中では、誰にでも挨拶できるスキルを身に付けていくこともできるのではないかでしょうか。

自分からの挨拶を充実していくために児童会が「相手の名前を言って挨拶をする」という取組を推し進めています。相手意識を大切にするという点で、分析結果の改善にもつながるのではないかと考えます。

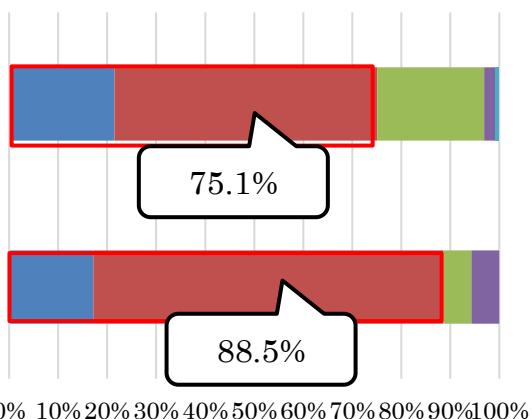
7. ルールやきまりを守り、自分で考えて行動できている。



【保護者】お子さんが、ルールやきまりを守ることについて働きかけている。

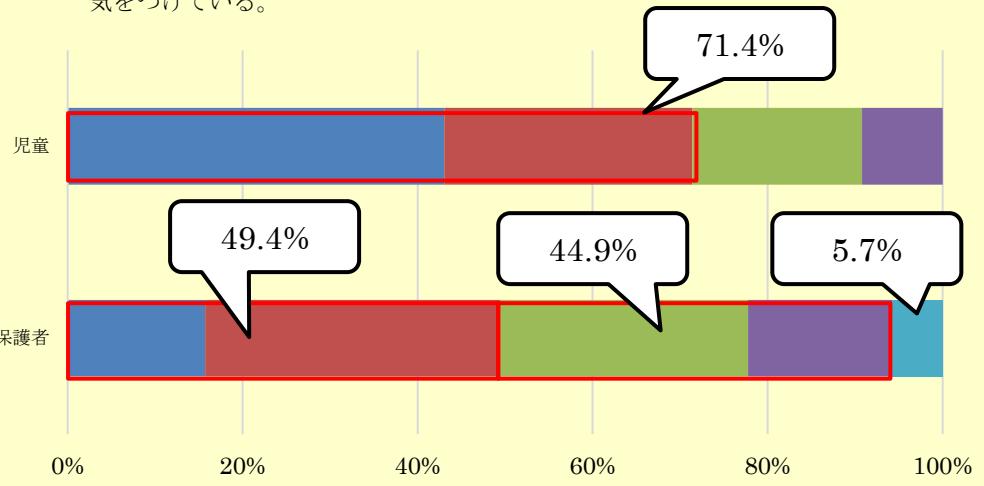


【保護者】お子さんが自分で考えて行動するように働きかけている。



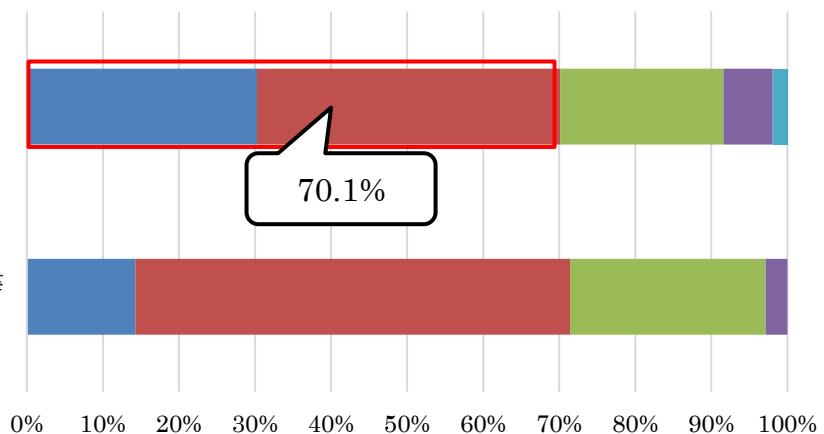
心も体も元気な子【改善点】

14.テレビやスマートフォン、ゲームなどを使う時間が長くならないよう気をつけている。



【保護者】テレビやスマートフォンを使用する時間を決め、守るように働きかけている。

【教職員】テレビやスマートフォンなどを長い時間使用したときの健康被害について指導している。



テレビやスマートフォン、ゲームなど ICT に関する項目です。

児童の 7 割は使用時間に気を付けていると回答していますが、保護者が児童の様子を評価した肯定的回答が約 5 割、否定的回答も約 5 割という結果になり、保護者の 7 割は使用時間を決めて守るように働きかけているけれども、守りきらすことが難しいとも言えることが分かりました。

そして、保護者のアンケートには、「わからない」の回答欄がありますが、この項目の他では 1 %~ 3 % にとどまっていた「わからない」の回答が、この項目だけ 5. 7 % となりました。

2 学期から iPad が導入され、iPad 等の ICT 機器を使いこなせるようになることが、これから社会で必要なスキルにもなってくるかと思います。学校では、学年による使い方、使用頻度なども考慮しながら学習に使用しています。ご家庭でも、健康面への影響などを考え、ルールを作られていることだと思いますが、それが守れるような方法を学校からもお伝えすることができればと考えています。

＜おわりに＞

アンケートへのご協力、ありがとうございました。ここに載せられなかった他の項目の結果については、学校ホームページに掲載しています。

今回、皆様からいただいたご意見と集計結果を踏まえ、学校教育目標「よりよく生きるために、自ら考え、行動する子」の育成を目指して、さらに学校の取組の改善を行っていきたいと思います。今後も、ご協力・ご支援をよろしくお願ひいたします。

